

授業科目 母性看護学実習

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	看護
中山 和美、三澤 寿美、塚本 康子 下山 博子、山口 典子		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	90
【概要・一般目標：GIO】 周産期にある母性看護の対象者（妊産褥婦ならびに新生児）とその家族に対して、知識・技術・態度を統合し、個性のある看護を実践するための基礎的能力を修める。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 受け持ち褥婦の特性を理解し看護を実践できる。 2. 受け持ち新生児の特性を理解し、看護を実践できる。 3. 妊婦の特性を理解し、必要な看護を考察する。 4. 産婦の特性を理解し、必要な看護を考察する。 5. 社会資源の活用について理解できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1 2 3 4 5 6	学内オリエンテーション 病院・病棟・外来のオリエンテーション 病棟ならびに外来で実習する カンファレンスを実施する 実習のまとめ 母性看護学実習要項に沿って実習する			1～5	各実習病院にて実習を行う
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所>
教科書 (必ず購入する書籍)		<発行年・価格 他>			
参考書		必要に応じ随時提示します			
その他の資料		母性看護学実習要項			
【評価方法】 目標達成度の評価ならびに出席状況を総合的に評価する		【履修上の留意点】 課題意識をもって主体的に学習すること 対象者の安全と満足度に十分配慮すると共に対象者の反応を重視すること 止むを得ない事情以外、全日実習することが原則である			